

総合型選抜対策講座③

文教大学国際学部 国際理解学科
(課題遂行型出願向け)

プレゼンテーション資料作成のポイント

2024年8月18日 (日)



今日の目次

1. 今後のスケジュール
2. 国際理解学科の課題の確認
3. プレゼンテーション資料作成のポイント
 - 3-1. パワーポイント作成の基本
 - 3-2. パワーポイント資料を作成する上での注意点
 - 3-3. パワーポイント資料作成の具体的なポイント
 - 3-4. まとめ
4. さいごに



総合型選抜対策講座のスケジュール

- 6月23日（日）：①課題図書を選び方・読み方について
- 7月14日（日）：②事前課題（レポート）の取り組み方
- ☑ 8月18日（日）：③プレゼンテーション資料作成のポイント
- 9月22日（日）：④試験当日に向けた対策について



国際理解学科の課題の確認

詳細については、必ず2025年度『文教大学入学試験要項(総合型選抜)』
を確認してください。



○課題の内容

(1) 以下の3つの課題図書の中から選んだ本を読み、2000字程度のレポートを書いてください (**1期**)。

a) 本田由紀『「日本」ってどんな国？国際比較データで社会が見えてくる』
(筑摩書房、2021年) [ちくまプリマー新書]

b) 平賀緑『食べものから学ぶ世界史——人も自然も壊さない経済とは？』
(岩波書店、2021年) [岩波ジュニア新書]

c) 久保田竜子『英語教育幻想』
(筑摩書房、2018年) [ちくま新書]



○課題の内容

(1) 以下の3つの課題図書の中から選んだ本を読み、2000字程度のレポートを書いてください（**2期**）。

d) 上野千鶴子『女の子はどう生きるか—教えて上野先生！』

（岩波書店、2021年）〔岩波ジュニア新書〕

e) 安田菜津紀『隣人のあなた—「移民社会」日本でいま起きていること』

（岩波書店、2022年）〔岩波ブックレット〕

f) 鳥飼玖美子『異文化コミュニケーション学』

（岩波書店、2021年）〔岩波新書〕



○課題の内容（続き）

※各課題図書の概要については、第1回の総合型選抜対策講座の資料も参照してください（国際学部HPに掲載しています）。

※課題図書は、書店などから購入するか、図書館から借りて読むなど、各自で入手してください（じっくり読み込むことや線を引くことなどを考えると、できるだけ購入することをお勧めします）。



○課題の内容（続き）

(2) その上で、読んだ本のテーマに関連する、もしくはそのテーマを発展させた、わたしたちが現在直面している問題（※）を具体的に取り上げたプレゼンテーション資料（※※）をつくり、それをもとに試験当日発表をしてください。

（※）例えば日本社会が抱えている問題、世界各国が共通して直面している問題など

（※※）パワーポイント、ポスターなど



○取り組むべき事前課題まとめ

- (1) 課題図書の一つ選んだ上で、2000字程度のレポートを作成（提出期限までに送付）。
- (2) 選んだ課題図書のテーマに関連する、あるいはそれを発展させたプレゼンテーション資料の作成（試験当日持参）。



* プレゼンテーション資料作成のポイント



どうやって取り組んだらいい？

今回の講座では、プレゼンテーション資料の作成ポイントについて紹介します。

※試験当日の発表の際の心構えなどは次回（9月22日）の総合型選抜対策講座④でお話しします。



✓ プレゼンテーション資料を作成する前に…

- ・ 例年いちばん多いのはパワーポイントのスライド(pptファイル)を使っの発表です。
- ・ もっとも、発表はパワーポイントを使ったものに限定されるわけではなく、「自分に一番合っている」「慣れている」資料作成方法（例えば模造紙でのポスター作成）で構いません。
- ・ いずれの発表方法でも **発表時間は10分程度**です（後述）
- ・ 以下では、パワーポイントでの資料作成を想定してお話しますが、他の方法をとる場合でも基本的な留意点は同じです。



✓ パワーポイント資料の長所

- ・パワーポイントファイル（pptファイル）は、複数の紙（スライド）から構成されています。このスライドの中に文字や画像を入れて、自分の発表内容の概要を盛り込みます（紙芝居と同じです）。
- ・パワーポイントのスライドでは、**絵や図を多く盛り込んだり、デザインを工夫したりする余地が大きく、視覚面で大きなインパクトを与えることができます。**



こんな風に！

こんな風に！



こんな風に！



✓ パワーポイント資料を作成する上での注意点

- ・他方で、パワーポイントのスライド作成では注意しなければならない点もあります。
- ・パワーポイントのスライドは、基本的に大きなプロジェクターなどに映して多数の人にみてもらうことを想定しているので、**一枚のスライドに盛り込める情報量はあまり多くすることができません**（文字の多すぎるスライドはとても読み辛い！）



✓ パワーポイント資料を作成する上での注意点（続き）

- ・従って、文章は要点だけを記載し、レイアウトやデザイン、フォントなどは見やすさ（視認性）を意識した工夫をする必要があります。

→発表時間（10分程度）を考えながらスライドの枚数も調節し、情報量が多くなりすぎないように注意しましょう。

→まずは必要そうな情報を最大限盛り込んで原案を作り、そこから「どう情報を引き算していくか」を考えるようにする方がうまく行きやすいと思います。

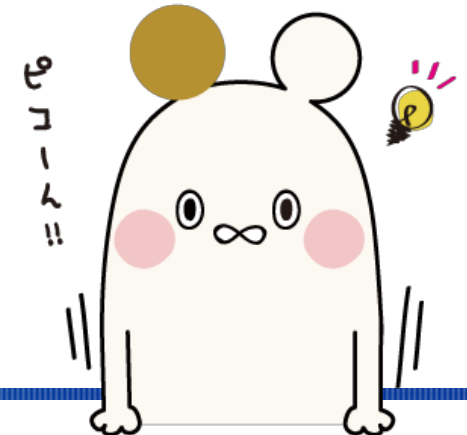


✓ 具体的なポイント（形式面）

① 構成を必ず最初にする！

学術的な文章を書いたり、発表資料を作成する際に必ずやらなければならないのが、**事前の構成作り**です。

→構成（発表の流れ）がなかったり、整理されていない発表は聞いている側にはとても理解し辛いです。発表の目次を明記したページを作るなど、発表の構成が一目でわかるような工夫があると良いと思います。



✓ 具体的なポイント（形式面）

②発表の構成、流れを把握した上で、必ず予行演習を！

発表時間は10分程度なので、必ず事前に時間を測って予行演習繰り返すようにしましょう。

→上述した「発表の構成」が効果的に示せるように、バランスの良い時間配分を考えるようにする（例えば、発表の導入部分に時間をかけすぎたりすることがないように）。言うまでもないことですが、時間超過は避けましょう！

→事前練習をすることで、どの部分で喋りすぎているのか、反対に、どの部分の情報が足りないかが見えてきます。

チラ



✓ 具体的なポイント（内容面）

① 課題図書、事前提出課題（レポート）とのつながりを意識する！

プレゼンテーション課題は、事前課題の内容を踏まえたものでなければなりません。

→ 課題図書の内容、さらには課題図書について自分が提出したレポートの内容と、プレゼンテーションの内容がきちんとつながっているかどうかは非常に重要なポイントです。

→ プレゼンテーション資料作成の際は、課題図書はもちろん、自分が提出したレポートの内容もよく見直しながらか、発表の内容・構成を考えましょう。



✓ 具体的なポイント（内容面）

② 問題や課題を明らかにしよう！

課題図書はどれも、何らかの社会的な課題について論じているものです。本を読み、それを踏まえてレポートを書く中で、課題図書に関連するテーマについて、現実の社会で生じている具体的な問題点が見えてくるはずです。

→そこで、まずはそうした現実社会で生じている具体的な問題や課題がどのようなものなのかを明らかにし、「何が問題・課題になっているのか」を明確にしましょう。

③ 問題や課題の「解決策」を考えよう！

最後に、②で明らかにした問題点を、具体的にどうやって解決できるかを考えましょう。



✓ 具体的なポイント（内容面）

④「解決策」を考える上でのヒント

★「意識改革」だけでは解決策にはならない

社会的な問題や課題は人の「意識改革」だけでは解決できないものがほとんど。そもそも人の「意識」を変えることこそが、実は一番難しい！

例：「一人一人が～な意識を持つようにすることが大切」／

「～な意識を持ち、自分にできることから始めていこうと思う」etc…

★問題を引き起こしている「社会的な構造」の方に注目しよう

例：その問題にはどのような歴史的、社会的背景があるのか／

その問題に関するルールや社会的な仕組み、制度（例えば法律など）はどうなっているかetc…



○プレゼンテーション資料作成の際のポイントまとめ

* 形式面

- ①情報の洪水にならないように「引き算」を意識する
- ②最初に発表の構成（発表の流れ）を必ず示す
- ③発表の構成を意識した上で予行演習をする

* 内容面

- ①課題図書・レポートの内容と、プレゼンテーションの内容とのつながりを意識する
- ②課題図書のテーマに関連する社会的な課題、問題点を明確にする
- ③そうした社会的な課題や問題点に対する解決策を考える



- ①繰り返しになりますが、課題図書／事前課題（レポート）の内容と、プレゼンテーションの内容は別ものではありません。**両方のつながりを意識したプレゼンテーションを心がけてください。**
- ②早めに原案を作り、学校の先生、ご家族など、周りの信頼できる人に**できるだけたくさん見てもらい、何度も修正を重ねていくと良いものに仕上がる可能性が高くなる**と思います。





国際学部の入試に
に関するご質問

総合型選抜についてわからない点がある場合は、

kokusai-sogo@bunkyo.ac.jp

までご相談ください。次のオープンキャンパス（9月22日開催予定）でまたお会いしましょう！

- * お問い合わせの際には、「志望学科」「氏名」「高校名」を必ず明記してください。
- * 回答はメールを送信していただいたアドレスに返信しますので、受信制限などを解除して、文教大学からのメールを受信できるようにしておいてください。



文教大学のホームページだけではなく

国際学部ホームページ

QRコード →



もぜひ見てください。

トップページ右上の「国際学部を受験する皆さんへ」のボタンをクリック
→「国際学部入試情報」のページへ

- ・ 受験生からよくある質問に答えた（Q&A）があります。
- ・ 課題遂行型対策講座の資料も同ページに掲載しています。

